

# 観光と災害レジリエンス： Postコロナを見据え Withコロナを生きる

観光は、日本の経済成長戦略のひとつの柱として大きな期待がかけられ、2019年の訪日観光客数は2011年の5倍にあたる3,188万人に達しましたが、訪日旅行中に地震、豪雨、台風等の影響を受け、どうしてもよいかかわらず困惑する外国人旅行者の姿が繰り返しニュースで報道されるなど、災害レジリエンスと観光振興の両立が課題として挙がり始めていました。そんな中、新型コロナウイルス感染症による渡航制限、移動の自粛などにより観光需要が急激に減少し、観光関連事業者のみならず国内各地の地域経済に大きな影響が及び、改めて観光事業者・観光地全体の事業継続、レジリエンスが注目されるようになってきました。

国連防災機関 (UNDRR) の民間グループとして仙台防災枠組とSDGsの実現に取り組むARISEジャパンは、「国際防災の日」に、観光分野の防災における官民連携や中小企業の多い観光関連事業者の事業継続力強化など、最新の防災・減災の潮流について考えるひとつの切り口として「観光と災害レジリエンス」を取り上げ、シンポジウムを開催します。

**10月13日 火** **国際防災の日**  
**13:30 - 15:00**  
 Zoomオンライン開催 (開室13:15)

主催：UNDRR ARISE ジャパン  
 共催：国連防災機関 (UNDRR) 駐日事務所



UN Office for Disaster Risk Reduction

後援：公益社団法人 日本観光振興協会  
 日本防災プラットフォーム

事前登録制  
 無料

参加申込み：オンラインにて受付 (定員90名)

<http://bit.ly/arisezoom>



お問い合わせ：ARISE ジャパン事務局

[arise.japan.secretariat@gmail.com](mailto:arise.japan.secretariat@gmail.com)

## 第1部 「観光と災害レジリエンス」 30分 de 早わかり

13:30	挨拶 早わかり 1	観光分野の防災と危機管理	ARISEジャパン 代表 & 第1・2部モデレータ 観光レジリエンス研究所 代表 株式会社JTB総合研究所 客員研究員	高松 正人
13:40	早わかり 2	BCPって、何？	ARISEジャパン 運営委員 ミネルヴァベリタス株式会社 顧問	本田 茂樹
13:50	早わかり 3	仙台防災枠組と 企業のレジリエンス	UNDRR駐日事務所 代表	松岡 由季

## 14:00 QAタイム

## 第2部 「観光と災害レジリエンス」の現状と課題

14:10	事例 1	宿泊施設の減災取組み 観光危機管理思考をマーケティング 段階から取り入れ、グループ全体で 事業継続と雇用維持	鶴雅ホールディングス(株) 取締役 鶴雅リゾート(株) 常務取締役	大西 希
14:20	事例 2	観光地のレジリエンス強化 観光事業者災害対応マニュアルの 作成とその過程における官民連携	一般社団法人富士五湖観光連盟 専務理事	上野 裕吉
14:30		観光事業者のレジリエンス強化支援 観光危機管理・事業継続力強化研究 会と観光事業者のBCP策定支援	公益社団法人日本観光振興協会 理事長	久保田 穰

## 第3部 Postコロナを見据えWithコロナでできること

14:40	ディスカッション		ARISEジャパン 運営委員 & 第3部モデレータ 国土防災技術株式会社 国際部事業企画課 課長	中村 清美
14:55	まとめと挨拶		ARISEジャパン 代表	高松 正人